

心こころ得える — 見けん仏ぶつ 正ただしい教おしえ情じやう報ほうに値あう — (二版)

存そん在ざいは単たん独どくではなく、縁えん起ぎによる。

いのちせいは生せいのみならず、生しやう死じなり。

死しは喪そう失しつのみではなく、得とく悟ごの機きなり。

但ただし別わかれは哀かなしみなり、癒いやすべきなり。

葬そう儀ぎは告こく別べつではなく、孝こう行こうなり。

引いん導どうは呪まじないではなく、確かく信しんなり。

墓はかは安あん息そく所じよではなく、発はつ信しんの塔とうなり。

供く養ようは慰なぐさめではなく、手て伝つたいなり。

利り益やくは利り己こではなく、利り生しやうの行ぎやうなり。

功く徳とくは外そとに求もとむなく、内うちに証あかすなり。

回え向こうは損そんではなく、応おう供ぐの倣ならいなり。

大だい人にんは二ふた心ごころではなく、一いつ心しんなり。

恩おんは返かえすのみではなく、報むくいるものなり。

出しゅ家つけは家いえ出でではなく、報ほう恩おんなり。

仏ぶつ法ぽうは世せ間けん法ぽうではなく、出しゅ世つ間せの法ほうなり。

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文